



GNOME 2.0 問題の解決方法 (Solaris 版)

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 817-4025-10
2003 年 12 月

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2 は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DiComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されず、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: GNOME 2.0 Desktop for the Solaris Operating Environment Troubleshooting Guide

Part No: 817-3853-10

Revision A



031204@7518



目次

- はじめに 7

- 1 インストール時の問題 11**
 - 1.1 インストールログ 11
 - 1.2 インストール失敗時のエラーメッセージ 12
 - 1.3 GNOME 1.4 デスクトップのアンインストール 12
 - 1.4 インストール後に ScrollKeeper が正しく動作しない 13

- 2 起動時の問題 15**
 - 2.1 ログイン画面に GNOME デスクトップのメニュー項目が表示されない 15
 - 2.2 起動時のエラーメッセージ 16
 - 2.3 一般的な起動時の問題 16

- 3 ウィンドウとセッション管理時の問題 19**
 - 3.1 ウィンドウマネージャがクラッシュする 19
 - 3.2 パネルを使用しないでログアウトする 20
 - 3.3 アプリケーションが適切に復元されない 20
 - 3.4 ウィンドウの予期しない動作 21
 - 3.5 swing の予期しない動作 21

- 4 一般的な GNOME デスクトップの問題 23**
 - 4.1 詳細な情報 23
 - 4.2 GNOME デスクトップのバージョンを知る 24
 - 4.3 Netscape 4.x で開発者用文書を表示する 24

4.4	一般的なエラーメッセージ	25
4.5	Nautilus が特定のファイルタイプを表示できない	25
4.6	Nautilus がクラッシュまたはフリーズする	26
4.7	Nautilus のためにシステムが遅くなる	26
4.8	TIF ファイルでパネルがクラッシュする	27
4.9	gconf についての情報	27
4.10	スクリーンセーバーとの衝突	28
4.11	選択したスクリーンセーバーが表示されない	28
4.12	Solaris リムーバブルメディアマネージャ	29
5	特定のアプリケーションで発生する問題	31
5.1	タイトルの動的設定オプションが機能しない	31
5.2	ScrollKeeper オプションについての補足情報	33
5.3	ヘルプページの目次に項目が1つもない	34
6	ハードウェアの問題	35
6.1	マルチヘッドディスプレイ	35
6.2	サウンドイベントが機能しない	36
6.3	x86 システム用にマウスを構成する	36
6.4	Sun Ray サーバー上で GNOME デスクトップを実行する	38
6.5	オーディオ CD の音が出ない	38
7	パフォーマンスの強化	39
7.1	Nautilus の設定の調整	39
7.2	背景の設定の調整	40
7.3	ウィンドウフレームテーマの変更	40
7.4	アプレットの削減	40
7.5	透過的な端末ウィンドウ	41
7.6	ウィンドウのワイヤフレーム移動を有効化	41
7.7	mediaLib ライブラリのインストール	41
7.8	CDE アプリケーションパフォーマンスの改善	42
8	アクセシビリティの問題	43
8.1	キーボードが応答しない	43
8.2	数字キーパッドが応答しない	44
8.3	システムがビーブ音を鳴らし続ける	44

8.4	システムがスローキーに対して間違っ	てピープ音を鳴らす	45
8.5	マウスキーの機能		45
9	各国語対応と国際化の問題		47
9.1	各国語化されたロケール		47
9.2	すべてのロケールで発生する問題		50
9.2.1	メニュー項目が各国語化されていない		50
9.2.2	ごみ箱アイコンが複数存在する		51
9.2.3	ダイアログとパネルが各国語化されていない		51
9.2.4	別のロケールで作成したファイルを表示できない		51
9.2.5	gmines を起動するとセグメント例外が発生する		52
9.3	ヨーロッパ言語ロケールで発生する問題		52
9.3.1	OpenWindows のログインオプションが表示されない		53
9.3.2	スタートメニューが各国語化されていない		53
9.3.3	XScreenSaver の「プロパティ」ダイアログの文字表示が正しくない		53
9.3.4	キーボードショートカットで入力方法ウィンドウを変更できない		54
9.3.5	端末ウィンドウ上の文字の表示品質が低い		54
9.3.6	CP1251 と ANSI1251 エンコーディングがサポートされていない		54
9.3.7	ロシア語ロケールでの表示の問題		55
9.3.8	ヘルプが英語でしか表示されない		56
9.4	アジア言語ロケールで発生する問題		56
9.4.1	デスクトップのデフォルトフォントの設定が小さすぎるか、または設定されていない		57
9.4.2	一部のフォントが中国語ロケールで表示されない		57
9.4.3	GGV で PostScript ファイルが正しく表示できない		58
9.4.4	文字の表示品質が低い		59
9.4.5	Solaris オペレーティング環境によって日付の形式が異なる		60
9.4.6	テキストエディタ (gedit) や GTK2+ のアプリケーションでは、特殊記号および IBM/NEC 拡張が表示されない		60
9.4.7	テキストエディタで JISX0212 部分の印刷ができない		60
9.4.8	gedit のデフォルトフォントで日本語の文字を出力できない		61
9.4.9	ISO-2022-JP エンコードファイルが開けない		61
9.4.10	gedit で日本語が表示されない		62
9.4.11	gedit のデフォルトフォントで日本語文字の表示品質が低い		62
9.4.12	端末ウィンドウ上の文字表示の問題		62
9.4.13	ファイルのコピーまたはリンク作成時のコアダンプ		63
9.4.14	入力方法ウィンドウが繰り返しフラッシュする		63
9.4.15	日本語ロケールでコアダンプする		63

9.4.16	GTK2+ アプリケーションがフリーズする	64
9.5	複雑なテキストを使用するロケールで発生する問題	64
9.5.1	右から左に書かれる言語のサポートが不完全である	64
	索引	67

はじめに

このマニュアル『GNOME 2.0 問題の解決方法 (Solaris 版)』は、Solaris™ 8 および Solaris 9 オペレーティング環境での、GNOME 2.0 デスクトップの既知の問題について説明しています。このマニュアルは、多くの既知の問題に対する回避策を提供しています。

対象読者

このマニュアルでは、次のユーザーを対象とした情報を提供しています。

- アクセシビリティ機能に関わるエンジニアと、それを必要とするユーザー
- 開発者
- 一般ユーザー
- ローカリゼーションチーム
- システム管理者

内容の紹介

このマニュアルの構成は次のとおりです。

- 第1章では、システム管理者とユーザーが GNOME 2.0 デスクトップ環境をインストールするときに直面する問題とその回避策について説明しています。
- 第2章では、システム管理者とユーザーが GNOME 2.0 デスクトップ環境を最初に起動するときに直面する問題について説明しています。
- 第3章では、GNOME 2.0 デスクトップ環境でウィンドウとセッションを管理するときに発生する問題について説明しています。

- 第4章では、GNOME 2.0 デスクトップ環境を使用するときの一般的な問題について説明しています。
- 第5章では、GNOME アプリケーションを使用するときの問題について説明しています。
- 第6章では、使用している GNOME 2.0 デスクトップ環境に影響する可能性のあるハードウェアの問題について説明しています。
- 第7章では、GNOME 2.0 デスクトップ環境のパフォーマンスを改善するためのいくつかのヒントを提供しています。
- 第8章では、GNOME 2.0 デスクトップ環境で発生するアクセシビリティに関する問題について説明しています。
- 第9章では、GNOME 2.0 デスクトップ環境で発生する各国語対応に関する問題について説明しています。

関連マニュアル

次に、このマニュアルに関連するマニュアルを示します。

- 『GNOME 2.0 Desktop for the Solaris Operating Environment Accessibility Guide』
- 『GNOME 2.0 インストールガイド (Solaris 版)』
- 『GNOME 2.0 ご使用にあたって (Solaris 版)』
- 『GNOME 2.0 システム管理 (Solaris 版)』
- 『GNOME 2.0 ユーザーズガイド (Solaris 版)』

Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、<http://docs.sun.com> です。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用しません。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第5章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \</code> <code>XV_VERSION_STRING'</code>

コード例は次のように表示されます。

■ C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

■ C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

一般規則

- このマニュアルでは、英語環境での画面イメージを使っています。このため、実際に日本語環境で表示される画面イメージとこのマニュアルで使っている画面イメージが異なる場合があります。本文中で画面イメージを説明する場合には、日本語のメニュー、ボタン名などの項目名と英語の項目名が、適宜併記されています。
- このマニュアルでは、「x86」という用語は、Intel 32 ビット系列のマイクロプロセッサチップ、および AMD が提供する互換マイクロプロセッサチップを意味します。

第 1 章

インストール時の問題

この章では、GNOME 2.0 デスクトップを Solaris™ 8 オペレーティング環境または Solaris 9 オペレーティング環境にインストールするときに発生する問題について説明します。

- 11 ページの「1.1 インストールログ」
- 12 ページの「1.2 インストール失敗時のエラーメッセージ」
- 12 ページの「1.3 GNOME 1.4 デスクトップのアンインストール」
- 13 ページの「1.4 インストール後に ScrollKeeper が正しく動作しない」

1.1 インストールログ

問題	インストール時のエラーが記録されるのはどこですか。
解決方法	GNOME 2.0 デスクトップの最新のインストールログは次の場所にあります。/var/sadm/install/logs

1.2 インストール失敗時のエラーメッセージ

問題	次のエラーメッセージが表示されて、インストールが失敗します。 <code>pkgadd: ERROR: cppath(): unable to start</code>
解決方法	使用している tar のバージョンが間違っているか、tar ファイルが壊れています。Solaris または GNU の tar バージョン 1.13 以上を使用する必要があります。tar ファイルが壊れている場合、もう一度 tar ファイルをダウンロードする必要があります。

1.3 GNOME 1.4 デスクトップのアンインストール

問題	システムには GNOME 1.4 デスクトップがインストールされていません。GNOME 1.4 デスクトップをアンインストールするにはどのようにしたらいいですか。
解決方法	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. CDE に root としてログインします。2. 端末ウィンドウを開きます。3. <code>cd /var/sadm/prod</code> と入力します。4. <code>java uninstall_gnome_1_4</code> と入力します。 GNOME 2.0 デスクトップがすでにインストールされている場合は、GNOME 1.4 デスクトップを削除できます。root としてログインし、次のコマンドを実行してください。 <code>/usr/sbin/remove-gnome -version 1.4</code>

1.4 インストール後に ScrollKeeper が正しく動作しない

問題	JumpStart、アップグレード、および Live Upgrade によるアップグレードの終了後、ScrollKeeper が正しく更新されません。
解決方法	<p>ソフトウェアの依存関係に問題があります。この問題を回避するには、次の手順を実行します。</p> <p>インストール、アップグレード、および Live Upgrade によるアップグレードが、ルートファイルシステムの中で直接行われた場合、ScrollKeeper データベースは、各パッケージに付属するインストール後スクリプトにより、インストール中に必要に応じて更新されます。</p> <p>インストールがルートファイルシステムディレクトリの中で直接行われない場合は、インストール後スクリプトは ScrollKeeper データベースを更新しません。</p> <p>最初にログインするときに、ScrollKeeper データベースを手動で更新する必要があります。この作業を実行するには root アクセス権が必要です。次のコマンドを C ロケールで実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. <code>su password</code>2. <code>/usr/bin/scrollkeeper-rebuilddb</code> <p><code>/usr/bin/scrollkeeper-rebuilddb</code> ファイルが次の場所に置かれている場合もあります。</p> <pre>{INSTALL_ROOT}/usr/bin/scrollkeeper-rebuilddb</pre>

第 2 章

起動時の問題

この章では、GNOME 2.0 デスクトップを起動したときに発生する問題について説明します。

- 15 ページの「2.1 ログイン画面に GNOME デスクトップのメニュー項目が表示されない」
- 16 ページの「2.2 起動時のエラーメッセージ」
- 16 ページの「2.3 一般的な起動時の問題」

2.1 ログイン画面に GNOME デスク トップのメニュー項目が表示されない

問題	ログイン画面に GNOME 2.0 デスクトップのメニュー項目が表示されません。
解決方法	現在、C ロケール用の GNOME dtlogin リソースファイルしかインストールされていません。その他のロケール用の GNOME ログインオプションを表示するには、このリソースファイルを使用しているロケールに対応する正しいディレクトリにコピーする必要があります。dtlogin ファイルをコピーするには、次のコマンドを使用します。 <pre>cp /usr/dt/config/C/Xresources.d/Xresources.Sun-gnome-2.0* /usr/dt/config/locale/Xresources.d</pre> このファイルは将来のリリースで各ロケールに対応する予定です。

2.2 起動時のエラーメッセージ

問題	起動時のエラーメッセージが記録される場所はどこですか。
解決方法	<p>次のファイルには、「アクセス権が間違っている」や「ファイルがない」などの問題を診断するのに役立つメッセージが記録されます。</p> <p>~/dt/startlog ~/dt/startlog.old ~/dt/startlog.older</p> <p>より詳細な情報を記録するには、~/dtprofile ファイルを編集して、dtstart_sessionlogfile=/dev/null 行を削除します。</p> <p>セッションログは、次の場所に記録されます。</p> <p>~/dt/sessionlogs/*</p> <p>これに代わる解決方法としては、フェイルセーフセッションから gnome-session を実行して、表示されるエラーメッセージを読む方法があります。</p>

2.3 一般的な起動時の問題

問題	<p>次のような一般的な起動時の問題を解決するにはどのようにしたらいいですか。</p> <ul style="list-style-type: none">■ ログインプロセスが真っ暗な画面から進まない。■ パネルが入力に応答しない。■ アイコンが正しく表示されない。■ パネルが表示されない。■ /opt/gnome-2.0/share 内のファイルを参照しているが、それらのファイルは存在しないというエラーメッセージが表示される。■ 正しいアイコンの代わりに、メインメニューの GNOME フットプリントアイコンが表示される。■ デスクトップの背景に画像が表示されない。
----	---

解決方法

次の手順を実行します。

1. 次のクリーンアップスクリプトを実行します。
`/usr/bin/gnome-cleanup`
2. `~/.dt/sessions/gnome` からセッションファイルを削除します。
3. `.xinitrc` ファイル内に GNOME 2.0 デスクトップと衝突するものがないことを確認します。衝突するものがないか確実にない場合は、`~/.xinitrc` ファイルの名前を `~/.xinitrc.orig` に変更して、もう一度ログインします。
4. `LD_LIBRARY_PATH` が互換性のないバージョンの GNOME ライブラリを指していないことを確認します。GNOME 2.0 デスクトップでは、`LD_LIBRARY_PATH` を設定する必要はありません。ほかのアプリケーションのために `LD_LIBRARY_PATH` を設定する必要がある場合、`/usr/lib` と `/usr/sfw` を `LD_LIBRARY_PATH` に追加します。
5. `gconfd-2` プロセスを強制終了します。
6. 次のコマンドを実行します。 `bonobo-slay`
もう一度ログインします。

第 3 章

ウィンドウとセッション管理時の問題

この章では、GNOME 2.0 デスクトップでウィンドウとセッションを管理するときに発生する問題について説明します。

- 19 ページの「3.1 ウィンドウマネージャがクラッシュする」
- 20 ページの「3.2 パネルを使用しないでログアウトする」
- 20 ページの「3.3 アプリケーションが適切に復元されない」
- 21 ページの「3.4 ウィンドウの予期しない動作」
- 21 ページの「3.5 swing の予期しない動作」

3.1 ウィンドウマネージャがクラッシュする

問題	Metacity ウィンドウマネージャがクラッシュして、すべてのウィンドウからフレームが消えます。
解決方法	セッションマネージャが自動的にウィンドウマネージャを再起動します。自動的に再起動しなかった場合、一度ログアウトして、ログインし直します。

3.2 パネルを使用しないでログアウトする

問題	すべてのパネルが消えたときにログアウトするにはどのようにしたらいいですか。
解決方法	<ol style="list-style-type: none">1. デスクトップ背景で右クリックして、デスクトップ背景メニューを開きます。2. 「新規端末」を選択します。3. 新しい端末ウィンドウから次のコマンドを入力します。 <code>gnome-session-save --kill</code>4. これでもログアウトできない場合、次のコマンドを実行します。 <code>pkill gnome-session</code>

3.3 アプリケーションが適切に復元されない

問題	ログアウトするときに「現在の設定を保存」を選択しても、次にログインしたとき、アプリケーションが適切に復元されません。
解決方法	次のアプリケーションにはこの問題があることが判明しています。 <ul style="list-style-type: none">■ 端末ウィンドウは復元されません。■ Gedit は画面の左上に復元されます。 この問題は将来のリリースで修正される予定です。

3.4 ウィンドウの予期しない動作

問題	いくつかのアプリケーションウィンドウがデスクトップ環境のすべてのウィンドウの上に表示されて、適切に復元しないか、GNOME ウィンドウリストに表示されません。
解決方法	デフォルトでは、MainSoft ライブラリに基づくほとんどのアプリケーションはウィンドウマネージャを無視して、自分のウィンドウを管理しようとします。Rational Rose と XML Professional Publisher にはこの問題があることが判明しています。MainSoft に基づくアプリケーションが正しく動作するには、MWM 環境変数を次のように設定する必要があります。 <code>MWM=allwm</code>

3.5 swing の予期しない動作

問題	Java™ 2 Platform Standard Edition V1.4 より前のバージョンで、swing 構成要素を正しく配置、サイズ変更、または更新できませんでした。
解決方法	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. Java 2 Platform Standard Edition V1.4 以降にアップグレードします。2. アプリケーションが Java 1.4 JVM を使用するように構成されていることを確認します。

第 4 章

一般的な GNOME デスクトップの問題

この章では、GNOME 2.0 デスクトップで発生する一般的な問題について説明します。

- 23 ページの「4.1 詳細な情報」
- 24 ページの「4.2 GNOME デスクトップのバージョンを知る」
- 24 ページの「4.3 Netscape 4.x で開発者用文書を表示する」
- 25 ページの「4.4 一般的なエラーメッセージ」
- 25 ページの「4.5 Nautilus が特定のファイルタイプを表示できない」
- 26 ページの「4.6 Nautilus がクラッシュまたはフリーズする」
- 26 ページの「4.7 Nautilus のためにシステムが遅くなる」
- 27 ページの「4.8 TIF ファイルでパネルがクラッシュする」
- 27 ページの「4.9 gconf についての情報」
- 28 ページの「4.10 スクリーンセーバーとの衝突」
- 28 ページの「4.11 選択したスクリーンセーバーが表示されない」
- 29 ページの「4.12 Solaris リムーバブルメディアマネージャ」

4.1 詳細な情報

問題

GNOME 2.0 デスクトップに問題があります。詳細な情報はどこにありますか。

- 解決方法
- GNOME デスクトップについての詳細な情報は次の場所にあります。
- 「アプリケーション」メニューを開き、「ヘルプ」を選択します。
 - 『GNOME 2.0 ユーザーズガイド (Solaris 版)』を参照してください。このマニュアルの最新バージョンは次の場所にあります。
<http://docs.sun.com>
 - 次の Web サイトにも GNOME プロジェクトについて役に立つ情報があります。
 - <http://www.gnome.org>
 - <http://mail.gnome.org>
 - <http://bugzilla.gnome.org>

4.2 GNOME デスクトップのバージョンを知る

- 問題
- 動作中の GNOME デスクトップのバージョンを知るにはどのようにしたらいいですか。
- 解決方法
- パネルを右クリックして、「GNOME について」を選択します。

4.3 Netscape 4.x で開発者用文書を表示する

- 問題
- `/usr/share/gnome/devel-doc` にある開発者用文書が Netscape 4.x では正しく表示されません。

解決方法	gtk-doc が利用している CSS (Cascading StyleSheets) は Netscape 4.x ではサポートされません。CSS を完全にサポートしているのは次のブラウザです。 <ul style="list-style-type: none">■ Netscape 6.x 以降■ Opera■ Galeon■ Mozilla■ Internet Explorer 5 以降
------	--

4.4 一般的なエラーメッセージ

問題	アプリケーションがクラッシュした、あるいは、正しく実行できなかったとき、エラーメッセージはどこに記録されますか。
解決方法	次のファイルを見てください。 <ul style="list-style-type: none">■ <code>~/dt/errorlog</code>■ <code>~/dt/errorlog.old</code>■ <code>~/dt/errorlog.older</code>■ <code>~/dt/sessionlogs</code> また、コマンド行からアプリケーションを実行すると、エラーメッセージが表示されたときがわかります。 GNOME 準拠アプリケーションのコアファイルを取得するには、アプリケーションを実行するときに <code>--disable-crash-dialog</code> オプションを指定するか、アプリケーションを実行する前に <code>GNOME_DISABLE_CRASH_DIALOG</code> 環境変数を 1 に設定します。

4.5 Nautilus が特定のファイルタイプを表示できない

問題	Nautilus 内であるファイルタイプをダブルクリックすると、Nautilus はファイルを表示できるビューアがインストールされていないことを示すダイアログを表示します。
----	--

解決方法	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. 「アプリケーション」メニューを開きます。2. 「デスクトップ設定」->「拡張設定」->「ファイルタイプとプログラム」を選択します。3. ファイルの MIME タイプまたは拡張子が「ファイルタイプとプログラム」ダイアログのアプリケーションに関連付けられていることを確認します。4. \$PATH 内に関連付けられているアプリケーションがあることを確認します。
------	--

4.6 Nautilus がクラッシュまたはフリーズする

問題	開いているブラウザウィンドウが不正な NFS マウントを指している場合、Nautilus がクラッシュまたはフリーズします。
解決方法	次のコマンドを実行します。 <code>pkill nautilus</code> Nautilus が再起動すると、不正な NFS ディレクトリは利用できなくなります。Nautilus が不正なマウントを指している間にセッションを保存していた場合は、 <code>~/ .dt/sessions/gnome</code> にあるセッションファイルを削除します。

4.7 Nautilus のためにシステムが遅くなる

問題	Nautilus で NFS マウントされたボリューム上のごみ箱を検索すると、システムが遅くなるかフリーズします。
----	---

解決方法

Nautilus が NFS ファイルシステム上のごみ箱を検索しないようにするには、次の作業を実行します。

1. 次のファイルを編集します。
`/usr/share/gnome/nautilus/filesystem-attributes.xml`
2. 次のエントリを設定します。
`filesystem name="nfs" _default_volume_name="NFS Network Volume" trash="no"`
3. 次のコマンドを実行して、Nautilus を再起動します。 `pkill nautilus`

4.8 TIF ファイルでパネルがクラッシュする

問題

「パネルの設定」背景ダイアログで TIF 画像ファイルを選択すると、パネルがクラッシュします。

解決方法

この問題を解決するには、LD_LIBRARY_PATH 内で `/usr/sfw/lib` が `/usr/openwin/lib` よりも前にある必要があります。

4.9 gconf についての情報

問題

GNOME 2.0 configuration system (gconf) についての情報はどこにありますか。

解決方法

gconf についての詳細な情報は次の場所にあります。
<http://www.gnome.org/projects/gconf>

『GNOME 2.0 システム管理 (Solaris 版)』にも、gconf の機能について説明している章があります。

4.10 スクリーンセーバーとの衝突

問題	<p>次のスクリーンセーバーが画面ロック設定に含まれていると、いくつかのフレームバッファドライバと衝突します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ ぐらぐらと画面をゆがめるようなスクリーンセーバー■ julia や penrose などのスクリーンセーバー <p>これらのスクリーンセーバーは、「ランダムなスクリーンセーバー」を選択しているとき実行されます。</p>
解決方法	<p>この <code>~/.xscreensaver</code> は古いファイルです。次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. <code>~/.xscreensaver</code> ファイルを削除します。2. ログアウトして、ログインし直します。 <p>実行したくないスクリーンセーバーを指定するには、「Screensaver Properties」ダイアログの「表示モード」タブでそのスクリーンセーバーを選択解除します。</p>

4.11 選択したスクリーンセーバーが表示されない

問題	<p>構成パネルでスクリーンセーバーを構成しましたが、スクリーンセーバーをプレビューするとき(あるいは、ブランクスクリーンを指定したとき)、選択したスクリーンセーバーが表示されません。</p>
解決方法	<p>Xscreensaver がグラフィカルなスクリーンセーバーを有効にできるのは、DPMS (Display Power Management System) を実行しているマシン上でだけです。DPMS を有効にするには、次のコマンドを実行します。 <code>xset +dpms</code></p> <p>Sun Ray™ クライアントは DPMS を実行しません。</p>

4.12 Solaris リムーバブルメディアマネージャ

問題	Solaris リムーバブルメディアマネージャをインストールする必要があるのはどのオペレーティング環境ですか。
解決方法	Nautilus は Solaris リムーバブルメディアマネージャと同様の機能を提供します。GNOME デスクトップでリムーバブルメディアマネージャを利用するには、Solaris 8 Update 1 以降のオペレーティング環境が必要です。一時的な対応としてパッチをインストールして、この機能をインストールすることは控えてください。

第 5 章

特定のアプリケーションで発生する問題

この章では、特定のアプリケーションで発生する問題とその回避方法について説明します。

- 31 ページの「5.1 タイトルの動的設定オプションが機能しない」
- 33 ページの「5.2 ScrollKeeper オプションについての補足情報」
- 34 ページの「5.3 ヘルプページの目次に項目が 1 つもない」

5.1 タイトルの動的設定オプションが機能しない

問題

バグ ID 4855527: 端末。

「プロファイル編集」ウィンドウ、「タイトルとコマンド」タブ、「タイトルの動的設定」ドロップダウンメニューのメニュー項目が機能しません。端末ウィンドウは、次の bash シェル環境変数を使って、動的設定タイトルおよびシェルプロンプトを設定します。

```
PROMPT_COMMAND=$'echo -ne "\
\033]0;${USER}@${HOSTNAME}: ${PWD}\\\007"' PS1=$' [\
\u@\\h \\W]\\\ $ ' USER='id -un'
```

Linux では、`/etc/bashrc` を使って必要な環境変数を設定できますが、このコマンドは Solaris オペレーティング環境では無効です。このため、Solaris オペレーティング環境では、動的設定タイトルおよびシェルプロンプトが機能しません。

解決方法

回避方法として、シェルの種類に応じたスクリプトを実行して、必要な環境変数を設定します。

bash シェル:

bashrc 内に次の内容を設定します。

```
case $TERM in
  xterm*)
    PS1="\[\033]0;\u@\h: \w\007\bash\\$ "
    ;;
  *)
    PS1="bash\\$ "
    ;;
esac
```

(or)

```
USER='/usr/xpg4/bin/id -un'
export USER
```

```
PROMPT_COMMAND='echo -ne "
\033]0;${USER}@${HOSTNAME}: ${PWD}\007"'
```

ksh シェル:

~.profile ファイルに次の情報を追加します。

```
mycd () {
  cd "${@}"; echo "\033]0;${USER}@${HOSTNAME}: ${PWD}\007c"
}
alias cd=mycd
```

csh シェル:

cshrc 内に次の内容を設定します。

```
switch ($TERM)
  case "xterm*":
    set host='hostname'
    alias cd 'cd \!*; echo -n "\^[]0;${user}@${host}:
${cwd}^Gcsh% "'
    breaksw
  default:
    set prompt='csh% '
    breaksw
endsw
```

プロンプトの文字列に含まれる「`^[]`」と「`^G`」は、ESC キーと BEL キーを 1 文字で表しています。これらの文字は、それぞれ `Ctrl+v+ESC`、`Ctrl+v+g` のようにして入力します。

5.2 ScrollKeeper オプションについての補足情報

問題	ScrollKeeper . scrollkeeper-rebuilddb のマニュアルページには、 <code>-o</code> オプションと <code>-p</code> オプションの情報が不足しています。
解決方法	ScrollKeeper データベースの標準設定では、 <code>-o</code> オプションと <code>-p</code> オプションを使用する必要はありません。これらのオプションは次の条件下でのみ必須となります。 <ul style="list-style-type: none">■ ScrollKeeper データベースを標準以外の場所にインストールする必要がある場合。たとえば、ディスクレスクライアントを設定する場合などが考えられます。 この場合は、<code>-p path</code> オプションを使って、ScrollKeeper データベースの場所を指定します。なお、<code>path</code> には空ディレクトリを指定してください。空でないディレクトリを指定すると、<code>scrollkeeper-rebuilddb</code> コマンドが途中で終了します。■ 標準以外の場所から OMF ファイルを読み取る必要がある場合。OMF ファイルの標準の場所は、<code>/etc/scrollkeeper.conf</code> ファイルに指定されています。 新しい場所を指定するには、<code>-o path</code> オプションを指定します。<code>/usr/share/omf</code> のように完全パス名を指定してください。<code>/usr/share</code> のようにパス名の一部だけを指定すると、<code>scrollkeeper-rebuilddb</code> コマンドの実行に時間がかかります。また、実行時に多くの警告が表示され、クラッシュする可能性があります。 次に、ディスクレスクライアント用に ScrollKeeper データベースを設定する場合の <code>-o</code> オプションと <code>-p</code> オプションの使用例を示します。 <pre># scrollkeeper-rebuilddb \ -p /export/root/clone/Solaris_9\ sun4u/var/gnome/lib/scrollkeeper \ -o /export/exec/Solaris_9_sparc.all\ usr/share/omf</pre>

5.3 ヘルプページの目次に項目が 1 つもない

問題

バグ ID 4875223

GNOME ヘルプブラウザの最初のページに目次が表示されません。

解決方法

これは、ScrollKeeper の問題です。回避策については、13 ページの「1.4 インストール後に ScrollKeeper が正しく動作しない」を参照してください。

第 6 章

ハードウェアの問題

この章では、GNOME 2.0 デスクトップで発生するハードウェアに関する問題について説明します。

- 35 ページの「6.1 マルチヘッドディスプレイ」
- 36 ページの「6.2 サウンドイベントが機能しない」
- 36 ページの「6.3 x86 システム用にマウスを構成する」
- 38 ページの「6.4 Sun Ray サーバー上で GNOME デスクトップを実行する」
- 38 ページの「6.5 オーディオ CD の音が出ない」

6.1 マルチヘッドディスプレイ

問題

自分のマシンは複数のディスプレイを持っています。2 番目のディスプレイに GNOME アプリケーションを表示するにはどのようにしたらいいですか。

解決方法

GNOME デスクトップインストールプロセスは複数のディスプレイを持つマシンを検出できます。マルチヘッドディスプレイは自動的に起動します。また、アプリケーションをほかのディスプレイで表示するには、`$DISPLAY` 変数を設定するか、アプリケーションを起動するときに `--display=:0.n` フラグ (n はディスプレイ番号) を指定します。

同じビデオデプス用に設定した 2 つの同じフレームバッファを使用している場合、`/etc/dt/config/Xservers` または `/usr/dt/config/Xservers` を変更して、`XSun` を `Xinerama` モードで実行できます。これにより、GNOME デスクトップで 2 台のディスプレイを論理的に 1 台のディスプレイとして扱うことができます。

6.2 サウンドイベントが機能しない

問題

Nautilus でサウンドイベントが機能しません。

解決方法

次の手順を実行します。

1. 「アプリケーション」メニューを開きます。
2. 「デスクトップ設定」->「サウンド」を選択します。
3. 次のオプションを選択します。
 - 「起動時にサウンドサーバーを使う」
 - 「イベントの効果音を鳴らす」
4. Nautilus で特定のタイプのサウンドイベントを聞くには、ファイルアイコンの上にマウスポインタを置きます。

すべてのイベントが有効になるわけではありません。

6.3 x86 システム用にマウスを構成する

問題

x86 版で GNOME デスクトップを実行しているとき、2 ボタンマウスも 3 ボタンマウスも正しく動作しません。

解決方法

ほとんどの GNOME アプリケーションには 3 ボタンマウスが必要です。次のことを実行する必要があります。

- 3 ボタンマウスの場合: 3 番目のボタンを有効にします。
- 2 ボタンマウスの場合: 2 つのボタンを同時にクリックすることで 3 番目のボタンをエミュレートします。

3 番目のマウスボタンを有効にしたり、3 ボタンマウスをエミュレートするには、次の手順を実行します。

1. ログイン画面から「オプション」->「コマンド行ログイン」を選択します。
2. **Return** を押して、**root** としてログインします。
3. 次のコマンドを入力します。 `kdmconfig`
`kdmconfig` コマンドは Solaris Device Configuration Assistant を実行して、現在のシステム構成を表示します。このプログラムはキーボード入力だけを受け入れます。メニュー内を移動するには、表 6-1 にあるキーを使用します。
4. メインメニューから「**Change Pointing Device/Mouse**」を選択します。
5. **F2** キーを押して、次の画面に進みます。
6. 適切なマウスのタイプまたはエミュレーションを選択します。
7. **F2** キーを押して、メイン画面に戻ります。**Pointer Device** が視覚的に変化しているはずですが。
8. **F2** キーを押して、テスト画面を表示します。
9. 画面が正しく表示されている場合、「**YES**」をクリックします。
10. 次のコマンドを入力して、コンソール画面を終了します。
`Exit`

システムは 3 ボタンマウスを使用するように正しく設定されました。

表 6-1 Solaris Device Configuration Assistant でのナビゲーションキー

キー	機能
下向き矢印	メニュー内でカーソルを下に移動します。
上向き矢印	メニュー内でカーソルを上移動します。
F2	次の画面に進みます。
F3	保存せずに終了します。
Return	オプションを選択します。

6.4 Sun Ray サーバー上で GNOME デスクトップを実行する

問題	GNOME 2.0 デスクトップを Sun Ray thin クライアントサーバーで実行するにはどのようにしたらいいですか。
解決方法	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. GNOME デスクトップを通常どおりにインストールします。2. Sun Ray クライアントのログイン画面に GNOME 2.0 オプションが表示されない場合、「オプション」->「ログイン画面のリセット」を選択します。

6.5 オーディオ CD の音が出ない

問題	オーディオ CD の音がまったく出ません。
解決方法	次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. 「アプリケーション」メニューを開きます。2. 「CDE メニュー」->「アプリケーション」->「オーディオ・コントロール」を選択します。3. 「再生」タブを選択して、次のデバイスの中から聞きたいデバイスを 1 つだけオンにします。<ul style="list-style-type: none">■ 組み込みスピーカ■ ヘッドフォン■ ライン出力4. 「録音」タブを選択して、「内部 CD」を選択します。5. モニターボリュームをゼロ以外の値に調整します。 これで、CD プレーヤーアプリケーションから CD を聞けるようになります。 注 - この手順は必ずしもすべての Sun ハードウェアおよび CD 構成で機能するとは限りません。

第7章

パフォーマンスの強化

この章では、GNOME 2.0 デスクトップのパフォーマンスを改善するためのいくつかのヒントを提供します。パフォーマンスを改善するためのより詳細な情報は『GNOME 2.0 システム管理 (Solaris 版)』を参照してください。

- 39 ページの「7.1 Nautilus の設定の調整」
- 40 ページの「7.2 背景の設定の調整」
- 40 ページの「7.3 ウィンドウフレームテーマの変更」
- 40 ページの「7.4 アプレットの削減」
- 41 ページの「7.5 透過的な端末ウィンドウ」
- 41 ページの「7.6 ウィンドウのワイヤーフレーム移動を有効化」
- 41 ページの「7.7 mediaLib ライブラリのインストール」
- 42 ページの「7.8 CDE アプリケーションパフォーマンスの改善」

7.1 Nautilus の設定の調整

ヒント

Nautilus ウィンドウマネージャの設定を最適化することにより、GNOME デスクトップのパフォーマンスを改善できます。

作業

1. Nautilus ウィンドウを開きます。
2. 「編集」->「設定」を選択します。
3. 「パフォーマンス」を選択します。
4. すべてのオプションが「ローカルファイルのみ」または「表示しない」に設定されていることを確認します。

7.2 背景の設定の調整

ヒント	GNOME デスクトップを速度の遅いネットワーク経由でリモートに実行する場合、デスクトップ背景の設定を調整すると、パフォーマンスを改善できます。
操作	<ol style="list-style-type: none">1. 「アプリケーション」メニューを開きます。2. 「デスクトップ設定」->「背景」を選択します。3. 「画像なし」ボタンをクリックします。4. 「背景スタイル」ドロップダウンリストから「単色」を選択します。

7.3 ウィンドウフレームテーマの変更

ヒント	ウィンドウフレームテーマをより基本的なものに変更すると、パフォーマンスを改善できます。
動作	<ol style="list-style-type: none">1. 「アプリケーション」メニューを開きます。2. 「デスクトップ設定」->「テーマ」を選択します。3. 「ウィンドウフレーム」タブをクリックします。4. 基本的なテーマ (Atlanta など) を選択します。

7.4 アプレットの削減

ヒント	パネル内のアプレットの数を減らすと、パフォーマンスを改善できます。
動作	使用していないアプレットをパネルから削除します。

7.5 透過的な端末ウィンドウ

ヒント	背景が透過的な端末ウィンドウを使用すると、GNOME デスクトップのパフォーマンスに影響します。
動作	端末ウィンドウの背景が透過である場合、端末ウィンドウ内で次の作業を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. 「編集」メニューを開きます。2. 「現在のプロファイル」を選択します。3. 「効果」タブを開きます。4. 「なし (塗りつぶす)」オプションを選択します。

7.6 ウィンドウのワイヤフレーム移動を有効化

ヒント	ウィンドウをワイヤフレームモードで移動すると、パフォーマンスを改善できます。
動作	次のコマンドを実行します。 <pre>gconftool-2 -s /apps/metacity/sun_extensions/wireframe_move_resize -t bool true</pre>

7.7 mediaLib ライブラリのインストール

ヒント	GNOME 2.0 デスクトップは mediaLib™ ライブラリをサポートします。これらのライブラリをインストールすると、GNOME デスクトップのパフォーマンスを大幅に改善できます。
動作	このパッケージのインストールについては、次の mediaLib の Web サイトを参照してください。 http://www.sun.com/processors/vis/mlib.html

7.8 CDE アプリケーションパフォーマンスの改善

- ヒント GNOME 2.0 デスクトップで CDE アプリケーションのパフォーマンスを改善するにはどのようにしたらいいですか。
- 動作 デフォルトでは、GNOME デスクトップセッションにログインしたとき、次の CDE アプリケーションは無効になっています。
- dtdbcache
dtdbcache はキャッシュを設定して、dtfile のようなアクションを使用する CDE アプリケーションの速度を上げます。キャッシュを設定していない場合、上記のようなアクションを使用する CDE アプリケーションの速度は落ちます。この機能を有効にするには、上記アプリケーションを手動で起動するか、起動スクリプトを使用します。次の作業を実行します。
 1. root としてログインして、次のファイルを開きます。

```
/usr/dt/config/Xsession.Sun-gnome-2.0-fcs
```
 2. 次の行を削除します。 `export SDT_NO_DTDBCACHE="1"`
 - ttssession
ttssession は Tooltalk デーモンです。CDE では、ttssession は常に、ユーザーが最初にログインしたときに起動します。GNOME 2.0 デスクトップでは、ttssession は Tooltalk を利用するプログラムを最初に実行したときに起動します。起動スクリプトを変更し、CDE の動作に戻すことができます。次の作業を実行します。
 1. root としてログインして、次のファイルを開きます。

```
/usr/dt/config/Xsession.Sun-gnome-2.0-fcs
```
 2. 次の行を削除します。 `export SDT_NO_TOOLTALK="1"`
 - dtappgather
dtappgather は CDE Application Manager のサポートプログラムです。通常、このプログラムを GNOME デスクトップセッションで実行する必要はありません。しかし、このプログラムを実行する場合、dtappgather を手動で起動するか、起動スクリプトを使用します。次の作業を実行します。
 1. root としてログインして、次のファイルを開きます。

```
/usr/dt/config/Xsession.Sun-gnome-2.0-fcs
```
 2. 次の行を削除します。 `export SDT_NO_APPGATHER="1"`

第 8 章

アクセシビリティの問題

この章では、GNOME 2.0 デスクトップで発生するアクセシビリティに関する問題について説明します。

- 43 ページの「8.1 キーボードが応答しない」
- 44 ページの「8.2 数字キーパッドが応答しない」
- 44 ページの「8.3 システムがビープ音を鳴らし続ける」
- 45 ページの「8.4 システムがスローキーに対して間違っってビープ音を鳴らす」
- 45 ページの「8.5 マウスキーの機能」

8.1 キーボードが応答しない

問題

次のとき、キーボードが応答しません。

1. AccessX から「マウスキーを有効」オプションを選択します。
2. 「パウンスキーを有効」または「スローキーを有効」を選択します。
3. 数字キーパッドを使って、フォーカスを「テスト入力領域」テキストボックスまで移動します。
4. 数字キーパッドの 5 を押して、「テスト入力領域」内をクリックします。

すると、キーボードはどのアプリケーション (端末ウィンドウや gedit など) でも機能しなくなります。

- 解決方法
- 次の作業を実行します。
1. AccessX から「マウスキーを有効」オプションを選択します。
 2. マウスキーを使用して、バウンスキー機能を有効にします。
 3. 数字キーボードを使って、フォーカスを「テスト入力領域」テキストボックスまで移動します。
 4. 数字キーボードの 5 を押して、「テスト入力領域」内をクリックします。
 5. 5 をもう 1 回、「テスト入力領域」テキストボックスで押します。
 6. キーボードを使用して通常どおりに入力します。
- スローキーに対しても、同じ作業を実行します。

8.2 数字キーボードが応答しない

- 問題
- Solaris 8 または Solaris 9 システムで XKB を有効にしていると、数字キーボードが応答しません。
- 解決方法
- キーボードの文字キー上部にある数字キーを使用してください。

8.3 システムがビープ音を鳴らし続ける

- 問題
- この問題は Sun Ray システムでのみ発生します。
- 次のとき、システムがビープ音を鳴らし続けます。
1. **AccessX** ダイアログで「キーボードアクセシビリティを有効にする」オプションを選択します。
 2. アクセシビリティオプションの中から
 - 「トグルキーを有効」を選択します。
 - あるいは、アクセシビリティオプションの中から「スティッキキーを有効」を選択して、さらに、「修飾キーが押されたときにビープ音を鳴らす」を選択します。
 3. 修飾キーまたはトグルキーを押します。

解決方法

ビープ音を止めるには、一度ログアウトして、ログインし直す必要があります。そして、**AccessX** ダイアログで次の作業を実行します。

1. 「トグルキーを有効」オプションを選択解除します。
2. 「スティッキキーを有効」を選択した場合、「修飾キーが押されたときにビープ音を鳴らす」オプションを選択解除します。

8.4 システムがスローキーに対して間違っ てビープ音を鳴らす

問題

次のとき、スローキーの「キーを拒否したとき」オプションは正しく機能しません。

- **AccessX** ダイアログから「スローキーを有効」オプションを選択します。
- 「キーを拒否したとき」オプションを選択します。
- 「キーを受けつけたとき」オプションを選択解除します。
- 「次の時間だけ押されたキーを受け入れる」スピンボックスに指定した時間だけキーを押し続けます。
- キーを離します。キーを離すと、システムはキーを受けつけますが、ビープ音を鳴らしません。

この状況では、キーを離したとき、システムがキーを受けつけたのであれば、システムはビープ音を鳴らしてはなりません。

解決方法

次の作業を実行します。

1. 「キーを拒否したとき」オプションを選択解除します。
2. 「キーを受け付けたとき」オプションを選択します。

8.5 マウスキーの機能

問題

この問題は Sun Ray システムでのみ発生します。

マウスキー機能を有効にしたとき、数字キーパッドの9キーはマウスポインタを右上に(斜めに)移動するはずですが、9キーはポインタを真上に移動します。

解決方法

8 キーを押してポインタを上に移し、6 キーを押してポインタを右に移します。

第 9 章

各国語対応と国際化の問題

この章では、GNOME 2.0 デスクトップで発生する各国語対応と国際化の問題について説明します。

- 47 ページの「9.1 各国語化されたロケール」
- 50 ページの「9.2 すべてのロケールで発生する問題」
- 52 ページの「9.3 ヨーロッパ言語ロケールで発生する問題」
- 56 ページの「9.4 アジア言語ロケールで発生する問題」
- 64 ページの「9.5 複雑なテキストを使用するロケールで発生する問題」

9.1 各国語化されたロケール

注 - アラビア語とヘブライ語は、完全にはサポートされていません。

次の表に GNOME 2.0 デスクトップでサポートされるロケールを一覧します。

言語	ロケール
アラビア語	ar ar_EG.UTF-8
ポルトガル語 (ブラジル)	pt_BR.ISO8859-1 pt_BR.UTF-8

言語	ロケール	
簡体字中国語	zh	
	zh.GBK	
	zh.UTF-8	
	zh_CN.EUC	
	zh_CN.GB18030	
	zh_CN.GBK	
	zh_CN.UTF-8	
	繁体字中国語	zh_HK.BIG5HK
		zh_HK.UTF-8
		zh_TW
zh_TW.BIG5		
zh_TW.EUC		
zh_TW.UTF-8		
英語	Posix (C)	
	en_AU.ISO8859-1	
	en_CA.ISO8859-1	
	en_GB.ISO8859-1	
	en_GB.ISO8859-15	
	en_IE.ISO8859-1	
	en_IE.ISO8859-15	
	en_NZ.ISO8859-1	
	en_US.ISO8859-1	
	en_US.ISO8859-15	
	en_US.UTF-8	
	フランス語	fr_FR.ISO8859-1
		fr_FR.ISO8859-15
		fr_FR.UTF-8
ドイツ語	de_DE.ISO8859-1	
	de_DE.ISO8859-15	
	de_DE.UTF-8	

言語	ロケール
ヘブライ語	he
	he_IL.UTF-8
イタリア語	it_IT.ISO8859-1
	it_IT.ISO8859-15
	it_IT.UTF-8
日本語	ja
	ja_JP.eucJP
	ja_JP.PCK
	ja_JP.UTF-8
韓国語	ko
	ko_KR.EUC
	ko.UTF-8
	ko_KR.UTF-8
ポーランド語	pl_PL.ISO8859-2
	pl_PL.UTF-8
ロシア語	ru_RU.ANSI1251
	ru_RU.ISO8859-5
	ru_RU.KOI8-R
	ru_RU.UTF-8
スペイン語	es_ES.ISO8859-1
	es_ES.ISO8859-15
	es_ES.UTF-8
スウェーデン語	sv_SE.ISO8859-1
	sv_SE.ISO8859-15
	sv_SE.UTF-8

注 – 一部のロケールでは、次のようにサポート内容が限定されています。

- ar, ar_EG.UTF-8:GNOME デスクトップの言語バージョンは提供されません。基本的な国際化のサポートと既知の問題のサポートだけが提供されます。64 ページの「9.5.1 右から左に書かれる言語のサポートが不完全である」を参照してください。
 - he, he_IL.UTF-8:GNOME デスクトップの言語バージョンは提供されません。基本的な国際化のサポートと既知の問題のサポートだけが提供されます。64 ページの「9.5.1 右から左に書かれる言語のサポートが不完全である」を参照してください。
 - ru_RU.ANSI1251:GNOME セッションは使えますが、GNOME デスクトップはサポートされません。
-

9.2 すべてのロケールで発生する問題

次の問題は、すべてのロケールで発生します。

- 50 ページの「9.2.1 メニュー項目が各国語化されていない」
- 51 ページの「9.2.2 ごみ箱アイコンが複数存在する」
- 51 ページの「9.2.3 ダイアログとパネルが各国語化されていない」
- 51 ページの「9.2.4 別のロケールで作成したファイルを表示できない」
- 52 ページの「9.2.5 gmines を起動するとセグメント例外が発生する」

9.2.1 メニュー項目が各国語化されていない

問題	<p>この問題は、すべてのロケールで発生します。</p> <p>次のメニューアイテムが、すべてのロケールで各国語化されていません。</p> <ul style="list-style-type: none">■ Audio Control■ Media Player
解決方法	<p>この問題は、将来のリリースで解決します。</p>

9.2.2 ごみ箱アイコンが複数存在する

問題	<p>この問題は、すべてのロケールで発生します。</p> <p>dtlogin から言語を切り替え、リモートログインすると、デスクトップ上に複数の「ごみ箱」アイコンが表示されます。</p>
解決方法	<p>次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 端末ウィンドウを起動します。■ <code>.gnome-desktop</code> ディレクトリに移動します。 <code>cd .gnome-desktop</code>■ 不要な「ごみ箱」設定ファイルを削除します。

9.2.3 ダイアログとパネルが各国語化されていない

問題	<p>この問題は、すべてのロケールで発生します。</p> <p>いくつかのアプリケーションで、各国語化されていないダイアログやパネルが表示されます。</p>
解決方法	<p>この問題は、将来のリリースで解決します。</p>

9.2.4 別のロケールで作成したファイルを表示できない

問題	<p>バグ ID 4824884: この問題は、すべてのロケールで発生します。</p> <p>Nautilus で、別のロケールで作成したファイルを表示できないことがあります。</p>
解決方法	<p>ファイルを作成したロケールにログインし、ファイルを開きます。</p>

9.2.5 gmines を起動するとセグメント例外が発生する

問題	この問題は、すべてのロケールの gmines ゲームで発生します。 言語パッケージをインストールした環境で、gmines ゲームを起動すると、セグメント例外が発生します。
解決方法	ゲームをフリーズさせないために、次のファイルを削除します。 <code>/usr/share/locale/[your-locale]/LC_MESSAGES/gnome-games.mo</code> これにより、全てのゲームが各国語対応でなくなります。 この問題は、将来のリリースで解決します。

9.3 ヨーロッパ言語ロケールで発生する問題

次の問題は、ヨーロッパ言語ロケールで発生します。

- 53 ページの「9.3.1 OpenWindows のログインオプションが表示されない」
- 53 ページの「9.3.2 スタートメニューが各国語化されていない」
- 54 ページの「9.3.4 キーボードショートカットで入力方法ウィンドウを変更できない」
- 54 ページの「9.3.5 端末ウィンドウ上の文字の表示品質が低い」
- 54 ページの「9.3.6 CP1251 と ANSI1251 エンコーディングがサポートされていない」
- 55 ページの「9.3.7 ロシア語ロケールでの表示の問題」
- 56 ページの「9.3.8 ヘルプが英語でしか表示されない」

9.3.1 OpenWindows のログインオプションが表示されない

問題	<p>この問題は、Solaris 8 オペレーティング環境のすべてのヨーロッパ言語ロケールで発生します。Solaris 9 オペレーティング環境では、この問題は発生しません。</p> <p>GNOME 2.0 デスクトップをインストールすると、ログインスクリーンのセッションオプションに OpenWindows が表示されなくなります。</p>
解決方法	<p>ログイン画面に OpenWindows オプションを復元するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. root としてログインします。2. 次のコマンドを実行します。 <pre>cp /usr/dt/config/C/Xresources.d/Xresources.o w /usr/dt/config/locale/Xresources.d/Xresources.o</pre> <p>locale には、OpenWindows ログインオプションを復元したいロケールを入力します。</p>

9.3.2 スタートメニューが各国語化されていない

問題	<p>ロケール pt_BR.ISO8859-1 で発生します。</p> <p>スタートメニューが各国語化されていません。</p>
解決方法	<p>この問題は、将来のリリースで解決します。</p>

9.3.3 XScreenSaver の「プロパティ」ダイアログの文字表示が正しくない

問題	<p>ロケール pt_BR.ISO8859-1 と pt_BR.UTF-8 で発生します。</p> <p>XScreenSaver の「プロパティ」ダイアログで、対応する言語に翻訳された文字が表示されません。pt_BR.UTF-8 ロケールで、キリル文字などの間違った文字が表示されます。</p>
解決方法	<p>この問題は、将来のリリースで解決します。</p>

9.3.4 キーボードショートカットで入力方法ウィンドウを変更できない

問題	<p>この問題は、ロシア語ロケールで発生します。</p> <p>x86 版 Solaris オペレーティング環境では、入力方法ウィンドウを選択、変更するキーボードショートカット (Ctrl+スペースバー) が機能しません。</p>
解決方法	<p>マウスを使用して、入力方法ウィンドウを選択および変更します。</p>

9.3.5 端末ウィンドウ上の文字の表示品質が低い

問題	<p>この問題は、ロシア語ロケールで発生します。</p> <p>端末ウィンドウ上の文字の表示品質が低いのですが、表示品質を高くするにはどうしたらいいですか。</p>
解決方法	<p>次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 端末ウィンドウを起動して、「編集」 → 「プロファイル」を選択します。2. 「編集」 ボタンをクリックします。3. 「一般」 タブ付きセクションで、「他のアプリケーションと同じフォントを使用」のチェックボックスを未選択にします。4. 「フォント選択バー」をクリックします。5. 「端末のフォントを選択します」ダイアログから適切なフォントを選択します。

9.3.6 CP1251 と ANSI1251 エンコーディングがサポートされていない

問題	<p>この問題は、ロシア語ロケールで発生します。</p> <p>このリリースの GNOME デスクトップの pango X11 が、CP1251 エンコーディングをサポートしていません。この結果、CP1251 または ANSI1251 に符号化された文字が、幅がゼロ、または空白文字として表示されます。</p>
----	---

解決方法 CP1251 がサポートされるまで、pango X11 がサポートする次のロケールを使用します。

- ru_RU.KOI8-R
- ru_RU.ISO8859-5
- ru_RU.UTF-8

iconv 変換テーブルを使用して、CP1251 または ANSI1251 のファイルを符号化し直すことができます。CP1251 または ANSI1251 ファイルを UTF-8 のファイルに符号化するには、端末ウィンドウで次のコマンドを実行します。

```
/usr/bin/iconv -f CP1251 -t UTF-8 CP1251 filename> UTF-8 filename (詳細は man iconv を参照)
```

9.3.7 ロシア語ロケールでの表示の問題

問題 この問題は、ru_RU.KOI8-R ロケールで発生します。

Solaris 8 オペレーティング環境の x86 版で、次のロシア語表示に問題があります。

- 00F1
- 00FF
- 00DC

この問題は、共通デスクトップ (CDE) と GNOME デスクトップの両方で発生します。

解決方法 GNOME デスクトップで使用する特定フォントを選択する必要があります。次の手順を実行します。

- 端末ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。
gnome-font-properties
- 「フォント設定」ダイアログの「デスクトップ用フォント」ボタンをクリックします。
- 「フォントの選択」ダイアログで、次のリストのフォントを指定します。
 - application: medium, medium italic, bold, bold italic
 - arial: italic, bold, bold-italic
 - courier: italic, bold italic
 - fixed:medium
 - interface system:medium
 - monospace: normal
 - sans: italic, bold italic
 - times: italic, bold italic

この問題は、将来のリリースで解決します。

9.3.8 ヘルプが英語でしか表示されない

問題	<p>バグ ID 4921134: この問題は、次のロケールで発生します。</p> <ul style="list-style-type: none">■ fr_BE.UTF-8■ es_AR.ISO8859-1■ es_BO.ISO8859-1■ es_CL.ISO8859-1■ es_CO.ISO8859-1■ es_CR.ISO8859-1■ es_EC.ISO8859-1■ es_GT.ISO8859-1■ es_MX.ISO8859-1■ es_NI.ISO8859-1■ es_PA.ISO8859-1■ es_PE.ISO8859-1■ es_PY.ISO8859-1■ es_SV.ISO8859-1■ es_UY.ISO8859-1■ es_VE.ISO8859-1
解決方法	<p>この問題を解決するには、次の作業を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ <code>su password</code>■ <code>cd /usr/share/locale</code>■ <code>ln -s parent locale target locale</code>■ セッションをログアウトします。■ 再度ログインします。 <p>アプリケーションが対象のロケールで表示されるはずですが。</p>

9.4 アジア言語ロケールで発生する問題

次の問題は、アジア言語ロケールで発生します。

- 57 ページの「9.4.1 デスクトップのデフォルトフォントの設定が小さすぎるか、または設定されていない」
- 57 ページの「9.4.2 一部のフォントが中国語ロケールで表示されない」
- 58 ページの「9.4.3 GGV で PostScript ファイルが正しく表示できない」
- 59 ページの「9.4.4 文字の表示品質が低い」
- 60 ページの「9.4.5 Solaris オペレーティング環境によって日付の形式が異なる」
- 60 ページの「9.4.6 テキストエディタ (gedit) や GTK2+ のアプリケーションでは、特殊記号および IBM/NEC 拡張が表示されない」
- 60 ページの「9.4.7 テキストエディタで JISX0212 部分の印刷ができない」
- 61 ページの「9.4.8 gedit のデフォルトフォントで日本語の文字を出力できない」
- 61 ページの「9.4.9 ISO-2022-JP エンコードファイルが開けない」

- 62 ページの「9.4.10 gedit で日本語が表示されない」
- 62 ページの「9.4.11 gedit のデフォルトフォントで日本語文字の表示品質が低い」
- 62 ページの「9.4.12 端末ウィンドウ上の文字表示の問題」
- 63 ページの「9.4.13 ファイルのコピーまたはリンク作成時のコアダンプ」
- 63 ページの「9.4.14 入力方法ウィンドウが繰り返しフラッシュする」
- 63 ページの「9.4.15 日本語ロケールでコアダンプする」
- 64 ページの「9.4.16 GTK2+ アプリケーションがフリーズする」

9.4.1 デスクトップのデフォルトフォントの設定が小さすぎるか、または設定されていない

問題	<p>バグ ID 4805328: この問題は、中国語を含む、いくつかのロケールで発生します。</p> <p>今のところ、各ロケールの GNOME デスクトップのデフォルトフォントの設定はできません。その結果、ロケールを切り替えると、デスクトップのデフォルトフォントの設定が小さすぎるか、または設定されていない状態になります。</p>
解決方法	<p>デスクトップのデフォルトフォントを変更するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 端末ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。 gnome-font-properties ■ フォントの設定ダイアログを使用して、適切なフォントサイズに変更します。たとえば、中国語ロケールでは、アプリケーション用フォントとデスクトップ用フォントを「Sans 13」に設定します。

9.4.2 一部のフォントが中国語ロケールで表示されない

問題	<p>バグ ID 4821955: この問題は、繁体字中国語で発生します。</p> <p>ボールドなどのフォントの文字が表示されません。その結果、Yelp ウィンドウでいくつかの文字が表示できません。</p>
----	--

解決方法

`/etc/locale` ディレクトリにある `pango.alias` ファイルを変更する必要があります (`locale` は、`zh_TW.EUC`、`zh_TW.BIG5`、`zh_TW.UTF-8`、`zh_HK.BIG5HK`、`zh_HK.UTF-8` のいずれかです)。次の手順を実行します。

1. `root` としてログインします。
2. 目的のロケール用の `pango.alias` ファイルが置かれているディレクトリに移動します。たとえば、`zh_TW.BIG5` ロケールでは、次のコマンドを実行します。

```
cd /etc/pango/zh_TW.BIG5
```

3. 次のコマンドを実行します。

```
cat pango.alias | tr [A-Z] [a-z] > /tmp/pango
```

4. 次のコマンドを実行します。

```
mv /tmp/pango pango.alias
```

5. `/etc/pango/sparcv9/pango` ディレクトリが使用しているシステム上に存在する場合、上記の `/etc/pango` と同様に、このディレクトリのロケールのディレクトリにある `pango.alias` ファイルを変更します。

9.4.3 GGV で PostScript ファイルが正しく表示できない

問題

この問題は、日本語を含むアジアロケールで発生します。

日本語 PostScript フォントファイル名を使用しているファイルが文字化けしてしまいます。

解決方法

次の手順を実行します。

1. root としてログインします。
2. 次のコマンドを実行します。 `cd /`
3. 次のコマンドを実行します。 `mkdir /Resource`
4. ロケールによって、次のいずれかのコマンドを実行します。

中国語簡体字

```
ln -s  
/usr/openwin/lib/locale/zh/X11/Resource/CMap  
/Resource/CMap
```

中国語繁体字

```
ln -s  
/usr/openwin/lib/locale/zh_TW/X11/Resource/CMap  
/Resource/CMap
```

日本語

```
ln -s  
/usr/openwin/lib/locale/ja/X11/Resource/CMap  
/Resource/CMap
```

韓国語

```
ln -s  
/usr/openwin/lib/locale/ko/X11/Resource/CMap  
/Resource/CMap
```

9.4.4 文字の表示品質が低い

問題

バグ ID 4423759: この問題は、Solaris 9 日本語環境で発生します。

解決方法

次の手順を実行します。

- 「アプリケーション」メニューを開きます。
- 「デスクトップ設定」 → 「フォント」を選択します。
- 「フォント設定」ダイアログで、「アプリケーション用フォント」と「デスクトップ用フォント」を「**hg gothic b>**」に指定します。
- なお、フォントのサイズは画面の解像度に依存するため、環境に合わせたサイズ (12 or 14 など) を指定してください。

9.4.5 Solaris オペレーティング環境によって日付の形式が異なる

問題	<p>この問題は、日本語ロケールで発生します。</p> <p>Solaris オペレーティング環境によって、日付の形式が異なります。次のロケールでは、曜日の表示形式に ' (および) ' がありません。</p> <ul style="list-style-type: none">■ Solaris 8 オペレーティング環境: ja_JP.UTF-8■ Solaris 9 オペレーティング環境: ja_JP.eucJP, ja_JP.UTF-8
解決方法	<p>この問題は、将来のリリースで解決します。</p>

9.4.6 テキストエディタ (gedit) や GTK2+ のアプリケーションでは、特殊記号および IBM/NEC 拡張が表示されない

問題	<p>バグ ID 4785550: この問題は、 gedit アプリケーションやその他の GTK2+ アプリケーションを日本語ロケールで使用したときに発生します。</p> <p>特殊記号および IBM/NEC 拡張の一部が表示されません。</p>
解決方法	<p>既知の制限です。</p>

9.4.7 テキストエディタで JISX0212 部分の印刷ができない

問題	<p>この問題は、日本語ロケールで発生します。</p> <p>テキストエディタ (gedit) アプリケーションでは、JISX0212 部分のプレビューはできませんが印刷ができません。</p>
----	--

- 解決方法
- Solaris 8 オペレーティング環境: 既知の制限です。
- Solaris 9 オペレーティング環境: 次の手順を実行します。
- gedit アプリケーションを起動します。
 - 「編集」 → 「設定」を選択します。
 - カテゴリパネルの印刷カテゴリから「フォント」を選択します。
 - 各項目を、次のいずれかのフォントに変更します。
 - HG-GothicB-Sun
 - HG-MinchoL-Sun

9.4.8 gedit のデフォルトフォントで日本語の文字を出力できない

- 問題
- バグ ID 48614914: この問題は、日本語ロケールで発生します。
- gedit アプリケーションでデフォルトの印刷フォントを使用すると、印刷プレビューに日本語の文字が表示されません。また、プリンタでも出力されません。
- 解決方法
- 次の手順を実行します。
- gedit アプリケーションを起動します。
 - 「編集」 → 「設定」を選択します。
 - カテゴリパネルの印刷カテゴリから「フォント」を選択します。
 - 印刷項目ごとに**HG-GothicB-Sun** フォントを指定します。

9.4.9 ISO-2022-JP エンコードファイルが開けない

- 問題
- バグ ID 4826184: この問題は、日本語ロケールで発生します。
- テキストエディタ (gedit) で、ISO-2022-JP エンコードファイルが開けません。
- 解決方法
- この問題は、将来のリリースで解決します。

9.4.10 gedit で日本語が表示されない

問題	バグ ID 4785550: この問題は、日本語ロケールで発生します。 テキストエディタ (gedit) で、デフォルトフォントが「Courier」のとき、日本語が表示されません。
解決方法	次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none">■ gedit アプリケーションを起動します。■ 「編集」 → 「設定」を選択します。■ 「フォントと色を選択」を選択します。■ 「デフォルトテーマのフォントを使用」を指定します。 ただし、この場合でも Solaris 8 環境では、特殊記号および IBM/NEC 拡張が表示されない問題が残ります。

9.4.11 gedit のデフォルトフォントで日本語文字の表示品質が低い

問題	バグ ID 4869534: この問題は、日本語ロケールで発生します。 gedit アプリケーションでデフォルトフォントを使用すると、日本語文字の表示品質が低くなります。
解決方法	次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none">■ gedit アプリケーションを起動します。■ 「編集」 → 「設定」を選択します。■ 「カテゴリ」パネルの「エディタ」カテゴリから「フォントと色」を選択します。■ エディタのフォントとして「hg gothic b」を指定します。

9.4.12 端末ウィンドウ上の文字表示の問題

問題	この問題は、日本語ロケールで発生します。 端末ウィンドウの「プロファイルの設定」ダイアログで「他のアプリケーションと同じフォントを使用」が選択されていると、特殊記号および IBM/NEC 拡張が表示されません。
----	--

解決方法	<p>次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 端末ウィンドウを起動します。 ■ 「編集」 → 「現在のプロファイル」を選択します。 ■ 「プロファイルの設定」ダイアログで、「他のアプリケーションと同じフォントを使用」の選択を解除します。 ■ 「interface user」を指定します。
------	---

9.4.13 ファイルのコピーまたはリンク作成時のコアダンプ

問題	<p>バグ ID 4824884: この問題は、日本語ロケールで発生します。</p> <p>Nautilus を使って別のロケールで作成したファイルのコピーまたはリンクを作成するとき、コアダンプが発生することがあります。</p>
解決方法	<p>ファイルを作成したロケールにログインし、ファイルのコピーまたはリンクを作成します。</p>

9.4.14 入力方法ウィンドウが繰り返しフラッシュする

問題	<p>バグ ID 4781611: この問題は、日本語ロケール ja_JP.UTF-8 ロケールで発生します。</p> <p>同じトップレベルアプリケーションウィンドウ上に複数の入力コンテキストがあるとき、入力方法ウィンドウが繰り返しフラッシュします。</p>
解決方法	<p>この問題は、将来のリリースで解決します。</p>

9.4.15 日本語ロケールでコアダンプする

問題	<p>バグ ID 4808468: この問題は、日本語ロケール ja_JP.UTF-8 ロケールで発生します。</p> <p>次のとき、アプリケーションがコアダンプします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IM ステータスから、「Unicode 表から選択」 → 「平仮名」を選択します。 2. アプリケーションウィンドウを閉じます。
----	---

解決方法 この問題は、将来のリリースで解決します。

9.4.16 GTK2+ アプリケーションがフリーズする

問題 バグ ID 4820426: この問題は、日本語ロケール ja_JP.UTF-8 ロケールで発生します。

次のとき、GTK2+ アプリケーションがフリーズします。

1. 入力した文字の候補ウィンドウを表示します。
2. スペースを押し続けます。

解決方法 この問題は、将来のリリースで解決します。

9.5 複雑なテキストを使用するロケールで発生する問題

次の問題は、複雑なテキストを使用するロケールで発生します。

- 64 ページの「9.5.1 右から左に書かれる言語のサポートが不完全である」

9.5.1 右から左に書かれる言語のサポートが不完全である

問題 この問題は、アラビア語とヘブライ語で発生します。

右から左に書かれる言語は、部分的にしかサポートされていません。右から左に書かれる言語の、印刷および GUI ウィジェットミラーリングの完全なサポートは、現在開発中です。

解決方法 アラビア語とヘブライ語のテキスト入力は、端末ウィンドウアプリケーションを除く GNOME 2.0 の国際化リリースでサポートしています。他の言語のパッケージをインストールしていない状態で、テキスト入力のサポートが必要な場合は、次のパッチをインストールします。

SPARC 版

x86 版

Solaris 8 オペレーティング環境	114485-01	114486-01
Solaris 9 オペレーティング環境	114274-02	114275-02

索引

A

ANSI1251 エンコーディング, サポートされていない, 54

C

CDE アプリケーション, パフォーマンスの改善, 42
CP1251 エンコーディング, サポートされていない, 54

G

gconf, 情報, 27
gedit
印刷の問題, 60
日本語が表示されない, 62
Gedit, 復元の問題, 20, 40
gmines, フリーズ, 52
GNOME Ghostscript, 日本語ファイルの表示, 58
GNOME 1.4 デスクトップ, アンインストール, 12
GNOME デスクトップのメニュー項目, ログイン画面で表示されない, 15
GTK2+
アプリケーションがフリーズする, 64
文字表示, 60

I

ISO-2022-JP エンコードファイル, gedit で開けない, 61

M

MainSoft, MWM の設定, 21
mediaLib ライブラリ, パフォーマンスのためのインストール, 41
Metacity, クラッシュ, 19
MWM 環境変数, MainSoft 用の設定, 21

N

Nautilus
クラッシュまたはフリーズ, 26
システムが遅くなる, 26
パフォーマンスのための調整, 39
nautilus, 表示できない, 25
Netscape 4.x, 表示の問題, 24

O

OpenWindows, ログインオプションが表示されない, 53

S

ScrollKeeper, インストール後に正しく動作しない, 13
Sun Ray サーバー, GNOME デスクトップを実行, 38
swing, 問題, 21

T

tif ファイル, パネルがクラッシュ, 27

あ

アイコン, 表示されない, 16
アプリケーション, 適切に復元されない, 20
アプリケーションがフリーズする, 日本語ロケール, 64
アプレット, パフォーマンスのための削減, 40
アラビア語, 部分的なサポート, 64
アンインストール, GNOME 1.4 デスクトップ, 12

い

一部のフォントが, 中国語ロケールで表示されない, 57
一般的な起動時の問題, 16
インストールログ, 場所, 11

う

ウィンドウ, 予期しない動作, 21
ウィンドウ境界テーマ, パフォーマンスのための調整, 40
ウィンドウマネージャ, クラッシュ, 19

え

エラーメッセージ
一般的な, 25
インストール失敗時の, 12
起動時の, 16

エラーメッセージ, ファイルがない, 16

お

オーディオ CD, 音が出ない, 38

か

各国語化
アジア言語ロケール, 56
すべてのロケール, 50
複雑なテキスト, 64
ヨーロッパ言語ロケール, 52

き

キーボード, 応答しない, 43
起動時の問題, 一般的な, 16

こ

コアダンプ
日本語ロケール, 63
ごみ箱アイコン, 複数, 51

さ

サウンドイベント, 機能しない, 36

し

システム, 連続するビープ音, 44
詳細な情報, 23

す

数字キーパッド, 応答しない, 44
スクリーンセーバー
衝突, 28
表示されない, 28

スタートメニュー、各国語化されていない, 53
スローキー、拒否オプションのときにピープ音を鳴らす, 45

た

ダイアログ、各国語化されていない, 51
タイトルの動的設定オプション、端末ウィンドウ, 31
端末ウィンドウ
タイトルの動的設定オプションが機能しない, 31
パフォーマンスのための調整, 41
文字の表示品質が低い, 54
端末ウィンドウ、復元の問題, 20, 40

ち

中国語、フォントが小さい, 57

て

ディスプレイ、マルチヘッド, 35
デスクトップの背景、画像がない, 16

に

日本語

gedit で ISO-2022-JP ファイルを開く, 61
gedit で日本語が表示されない, 62
GNOME Ghostscript でのファイルの表示, 58
アプリケーションがフリーズする, 64
ウィンドウがフラッシュする, 63
コアダンプ, 63
端末ウィンドウ上の文字表示, 62
日付の形式, 60
文字の表示品質が低い, 59
入力方法ウィンドウ
キーボードショートカットで変更できない, 54
繰り返しフラッシュする, 63

は

バージョン、GNOME デスクトップ, 24
背景、パフォーマンスのための調整, 40
パネル、各国語化されていない, 51
パネル、応答しない, 16
パネル、表示されない, 16

ひ

日付の形式, 60
表示の問題、ロシア語表示, 55

ふ

ファイル、表示できない, 51
フォントが小さすぎる、複数のロケール, 57

へ

ヘブライ語、部分的なサポート, 64

ま

マウス、3 ボタン構成, 36
マウスキー、数字キーの9, 45
マルチヘッドディスプレイ, 35

め

メインメニュー、アイコンが正しくない, 16
メニューアイテム、各国語化されていない, 50
メニューアイテムが各国語化されていない, 50

も

文字の表示品質、低い, 59
文字表示
GTK2+ アプリケーション, 60
端末ウィンドウ, 62

り

リムーバブルメディアマネージャ, 29

ろ

ログアウト, sans パネル, 20

ログイン, 復元に問題があるアプリケーション, 20

ログイン画面, GNOME デスクトップのメニュー項目が表示されない, 15

ログインプロセス、ハング, 16

ロケール

一部のフォントが表示されない, 57

各国語化, 47

ロシア語

CP1251/ANSI1251 エンコーディングがサポートされていない, 54

端末ウィンドウ上の文字の表示品質が低い, 54

入力方法ウィンドウを変更できない, 54

表示の問題, 55

わ

ワイヤーフレーム移動モード, パフォーマンスのための有効化, 41